

## 第16回ホームカミングデイを開催



令和4年10月29日(土)、紅葉の金沢大学角間キャンパスにて、第16回金沢大学ホームカミングデイが開催されました。コロナ感染へ十分配慮した歓迎式典には148名、懇親交流会には151名の卒業生及びそのご家族等にご出席いただき、同級生の再会等で賑やかな一日になりました。歓迎式典は、金沢大学合唱団による校歌斉唱(参加者は黙読)で始まりまして。



### ● 学長挨拶



◆挨拶を述べる和田学長

金沢大学学長挨拶で和田隆志(わだ たかし)学長は、目指す金沢大学像として、「学生や教職員が誇りと愛着を持ち、人が輝く金沢大学」、「オール金沢大学で、活気に溢れた金沢大学」を創り上げていくと抱負を語りました。入学宣誓式では、「人間力」と「総合知」を身につけ、未来課題を探索し解決する「未来知」により社会を切り拓いてほしい、と告辞したことを述べました。

大学改革面では、今後2年間の行動計画として「金沢大学未来ビジョン『志』」を策定したこと、金沢大学の目標として、「未来知」により社会貢献を果たすことを明確に掲げた上で具体的なアクションを示し、未来ビジョンは、学生、教員、職員がそれぞれの立場を超えて協働することで実現できる、一人一人が金沢大学の宝、財産であることを心に留め、「オール金沢大学」で取り組んでいく、との決意を述べました。最後に金沢大学基金からの報告と共に今後の支援と協力のお願がありました。

### ● 学友会会長祝辞

来賓を代表して祝辞を述べられた安宅建樹(あたか たてき)金沢大学学友会会長は、この2年間コロナ禍により同窓会活動が中断してきたこと、最近の減少傾向を受け、徐々に同窓会も開催されてきている実状を述べられ、関係者への謝辞がありました。

次いで、学長挨拶の中から“金沢大学ブランド人材育成”を取り上げ、「人間力」、「総合知」を身に付けた社会の中核的リーダーの育成が非常に重要であることと、大学の応援団である学友会は、和田学長の金沢大学牽引に対して強力に後押し及び支援を行っていく旨述べられました。



◆祝辞を述べる安宅会長  
(法文学部・昭和48年卒)

### ● 金沢大学の近況報告



◆金沢大学の近況を報告する中村理事

中村 慎一(なかむら しんいち)理事(研究・社会共創・大学院支援担当)・副学長から、「未来知により社会に貢献する金沢大学を目指して」と題し、

- ①金沢大学の概況、②金沢大学未来ビジョン「志」、③世界的研究拠点形成と実証研究の展開、④社会の中核的リーダーたる人材の輩出、⑤リカレント教育による次世代リーダーの輩出、⑥人・知・社会との好循環について、本学の近況報告がありました。

### ● 新たな取組

今回はキャンパス見学会のほかに、新たな取組として、フラワーアート(校章を花で)、国旗でハロウィーン、附属特別支援学校とクッキーでコラボ、など参加者を楽しませるイベントを同時に開催しました。



### ● 学生の留学体験報告・課外活動報告

- ★人間社会学域国際学類4年 殖粟 壮太(うえぐり そうた)  
「留学体験報告」アメリカ合衆国 ニューヨーク州立大学ニューポルツ校  
期間 2021年8月~2022年5月
- ★人間社会環境研究科国際学専攻1年 勝田 ケリー(かつだ けりー)  
「派遣留学報告」カナダ モントリオール大学  
期間 2019年9月~2020年4月
- ◇ボランティア・さぼーとステーション：人間社会学域国際学類2年  
中村 璃子(なかむら りこ)



◆報告する殖粟さん(左側)、勝田さん(中央) 中村さん(右側)

## ● 特別講演

特別講演では、公益財団法人都市活力研究所 上席研究員 北川雅俊(きたがわまさとし)氏から、「企業研究、大学産学連携活動を経て知った大学発ベンチャー/スタートアップの重要性」と題し、ご講演をいただきました。

スタートアップとベンチャーの組織としての違いや大学シーズを企業化し、イノベーションの創発を図ること、次なるシーズ研究の喚起が重要である、と話されました。また、産学連携活動ではこれまでの戦略・戦術重視の取り組みからオープンイノベーションを重視し、1箇所集中主義から複数拠点を軸とした企業ノータッチの大学発スタートアップへとシフトを変化させている現状について詳しく説明がありました。

最後に質疑が行われ、出席者から、企業経営との関連や産官学金連携への展開などについて質問があり、事例を交えわかりやすく答えていただきました。

お話の内容は、大学の人材育成や研究開発にとっても大変重要であり、組織としても金沢大学の今後の目標とする社会共創基盤の強化につながるものと思われます。



◆講演する 北川雅俊氏  
公益財団法人都市活力研究所 上席研究員  
(工学部・昭和52年卒)

## ● 第12回金沢大学学友会役員総会

第12回金沢大学学友会役員総会では、安宅会長から、副会長及び理事の一部に交代推薦があった旨報告があり、候補者は推薦どおり委嘱することとなりました。

大竹 茂樹(おおたけ しげき)学友会代表理事からは、安宅会長には学位授与式にて祝辞をいただいたこと、入学宣誓式にご列席いただいたこと及び入学手続案内への各同窓会からの入会案内の同封に関する検討案等が報告されました。

【学友会役員(令和3年10月30日~令和5年10月29日)】

会 長	安宅 建樹(法経文)		
副 会 長	西田 直樹(法経文)	金浦 修郎(教育)	
	岡本 博之(理)	山本 健(医)	
	松永 司(薬)	大貝 和宏(保健)	
	伊藤 寛治(工)		
代表理事	大竹 茂樹(金沢大学副学長)		
理 事	鳥越 伸博(法経文)	坂根 功一(教育)	
	井村 久則(理)	中村 裕之(医)	
	松下 良(薬)	松崎 太郎(保健)	
	喜成 年泰(工)		
監 事	菅野 俊司(工)	東 実(教育)	

## ● 懇親交流会

歓迎式典後の懇親交流会は、昨年同様新型コロナウイルス感染症への対策のためアクリル板で区切り、参加者は着席で懇談しました。

和田学長の歓迎挨拶の後、安宅会長の乾杯発声により開会しました。会場では、今回で3回目の出演となる本学卒業生を中心とした女性アマチュア木管アンサンブル「ナチュラル・クインテット」による演奏があり、懇親交流会が華やき大いに盛り上りました。今回は各テーブルに現役学生も参加し、OBとの懇談で学生生活や課外活動へのアドバイスをもらうなど、交流が深まりました。

最後に、大竹理事・副学長から締めめの挨拶があり、次回も元気で再会することを祈念し、名残を惜しみつつ終了しました。



◆ナチュラル・クインテットの演奏



◆現役生も交えた交流会会場の様子

## ◆ 短信① ▶ 金沢大学法経文学部同窓会全国総会報告(2022年9月3日(土) ホテル日航金沢)

法経文学部同窓会は、2022年度全国総会を、9月3日(土)、ホテル日航金沢において会員65名の参加のもと行いました。当同窓会は2年に一度全国総会を開催していますが、新型コロナウイルスの影響により昨年1年延期し、今回は3年ぶりの開催となりました。

総会では、安宅会長の挨拶の後、決算報告、金沢大学基金への寄付や役員改選などを協議し、会長には安宅会長が再任されました。次いで、記念講演会を開催し、小説家の城山真一さん(金沢大学法学部卒)に「金沢で書く~地方作家の流儀~」と題して、1つの小説が出来るまでの過程や金沢に拠点を置いて小説家として活動する苦労・意義等について講演をいただきました。講演の最後に、ラジオパーソナリティーの松岡理恵さん(金沢大学経済学部卒)による城山さんの短編小説の朗読もあり、同じ法経文学部同窓会の仲間による中身の濃い講演会となりました。



講演会に引き続き懇親会に移り、懇親会は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、各テーブルの人数を減らして実施しました。まず、にしの芸妓の皆さんによる踊りで華やかに開幕し、金沢大学校歌のCD演奏、安宅会長の歓迎挨拶に続いて、安宅会長から和田学長へ金沢大学基金への寄付目録の贈呈を行いました。その後、ご来賓を代表して和田学長から新学長としての抱負や大学の近況についてご挨拶をいただき、大竹理事・副学長の乾杯のご発声で歓談に移りました。歓談の中では、各支部長からの近況報告や懇親会に参加されている6名の女性の皆さんの自己紹介等で盛り上がりました。

最後は西田副会長の中締めで、無事開催できたことに安堵しつつ、2年後の再会を約束して終了しました。

(法経文学部同窓会事務局・鳥越記)

※紙面の都合で一部割愛させていただきました。



■ 大学が業者の名簿作成を依頼することはありません。電話等による勧誘には十分ご注意ください。  
■ 地域・職域・サークル・寮等の同窓会活動の近況や総会・懇親会等の開催日程、開催報告等を「学友支援ニュース・レター」に掲載ご希望の場合は、学友支援室までご連絡ください。